

(別表第1の3)

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3870103664
法人名	有限会社 トータルケア果の実
事業所名	グループホーム ころ
所在地	松山市西垣生町575-6
自己評価作成日	平成 22年1月7日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 ※「介護サービス情報の公表」制度にて、基本情報を公表している場合のみ、ここに記載

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日	平成22年 2月 2日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ① ご入居者様が不安なく安心して暮らせるよう。笑顔で接し、お話をよく聞いています。
- ② ご入居者様の健康を守るため、近隣の病医院にお願いし、訪問診療や訪問歯科、訪問看護、訪問リハビリ、訪問マッサージ、受診等必要時は24時間体制でご協力いただいています。
- ③ おむつを外して出来るだけトイレで排泄できるよう足踏み体操や歩行訓練など身体機能の維持改善に取り組んでいます。
- ④ ドライブや買い物、お弁当を持って行楽地へ行く等外出の機会を多くしてホームの暮らしが快適で楽しくなるように取り組んでいます。
- ⑤ 食材にもこだわり、家庭菜園やニワトリを飼って新鮮な卵を使ったり、入居者と一緒に度々魚釣りに行き、新鮮な物を食べて頂いています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホーム内は床暖房で適温に保たれ、利用者は居心地よく過ごしている。トイレ、浴室、リビング、居室は清掃が行き届き、清潔で整理されている。定期的に理学療法士によるリハビリテーションや歩行訓練を行い、利用者の機能維持と向上を図っている。代表者は、職員の意見や提案を聞き取るよう努め、運営に反映させている。管理者は職員を信頼し、職員同士が仲良く協力し合ってサービスの質の向上に努め、利用者との馴染みの関係を築いている。ホームの庭で収穫する旬の野菜や、代表者と利用者が楽しみながら釣った新鮮な魚を献立に取り入れるなど、食の楽しみを支援している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

(別表第1の2)

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- I. 理念に基づく運営
- II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

#### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名	グループホーム ころ
(ユニット名)	あんず
記入者(管理者)	
氏名	山本 誠一
評価完了日	平成22年1月7日

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

【セル内の改行は、「Altキー」+「Enterキー」です】

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>I.理念に基づく運営</b>				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<p>(自己評価) 朝・夕の申し送りや月1回のミーティング等で理念を確認しあい、職員の休憩場所やロッカー等の目のつく場所に掲示し自身の振り返りの機会を設けている。</p> <p>(外部評価) 設立当初に立てた基本理念を踏まえ、地域密着型サービスの役割を盛り込んだ行動目標を職員全員で話し合って作成している。管理者と職員は、年2回の面接において理念の再確認を行い、また、毎月のミーティングで日々のケアの振り返りを通して理念を共有し、実践につなげている。</p>	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	<p>(自己評価) 開設以来の“信頼・和・安心”の理念を系列の3ユニットで話し合い、よく理解し継続可能な具体的な行動目標を設定し日々努力している。</p> <p>(外部評価) 代表者が地域在住で自治会にも加入している。祭りの御輿や農協婦人部のボランティアが来てくれたり、地域の敬老会に参加する利用者もいる。町内の幼稚園の運動会やひな祭りに招待されたり、ホームのクリスマスに招待するなど、相互の交流がある。中学生の職場体験学習を受け入れている。散歩時には近所の方とあいさつを交わし、会話を楽しんでいる。</p>	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<p>(自己評価) 地域の中の事業所として相互に協調・協力しあえる関係を築きたいが模索中であり、地域貢献にまでは至っていない。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) ホームの行事を通してご入居者、ご家族、地域の方々、市町村の方々の参加と交流を中心に取り組み、地域の方やご家族からの貴重なご意見を頂き、サービスの質、の向上に努めている。	
			(外部評価) 市担当者、民生委員、利用者及び家族等をメンバーとして、2か月毎に開催している。協力医療機関の医師がミニ講義を行ったり、花見や夏祭り等の行事に合わせて開催するなど工夫している。会議の後に家族会を開き、代表者が家族から個別に意見や要望を聞いている。	会議を通じて地域に災害時等の協力依頼をする際には消防関係者を招くなど、議題によって参加メンバーを検討し、より有意義なものとなるような工夫を期待したい。会議の状況や内容がよりわかりやすくなるような記録の工夫も期待したい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議へのご出席はじめ、申請手続き等ご相談申し上げ、適切にご指導をいただき、ホームの運営に大変助かっている。	
			(外部評価) 要介護認定の際や各種申請時等に電話や訪問にて相談するなどして連携を図り、常に協力関係を築くように取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 「指定基準にそった禁止対象の具体的な行為」についてはその都度、職員間で意見交換を行い、拘束しないケアに取り組んでいる。	
			(外部評価) 玄関は夜間の防犯目的以外には自由に入出りできる。センサーを利用して利用者の出入りを把握し、職員が連携して見守っている。職員研修で拘束について正しく理解し、拘束をしないケアに取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 外部から講師を招き、勉強会を設けたこともあり、虐待が見過ごされないよう注意を払い、防止に努めている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) ご利用者の方の中に、必要とされる方はいないか？職員間で話し合ったり、ご家族や地域の方からの質問に対応できるように努めている。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入居前にご本人やご家族に見学して頂き、十分な説明を行ったりご意向を確認し、納得して頂いた上で入所契約を行っている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ご自身で意見の言えるご利用者は、意見・不満を積極的に言われる。意見を上手く伝えられないご利用者には、担当職員が代弁したり、表情等から察する様になっている。リビングでの語らいの際、意見や思いを伝えられる雰囲気作りに努めている。  (外部評価) 玄関に意見箱を置き、また重要事項説明書に苦情申し立て先を明記して説明している。家族の意見や要望は訪問時や家族会開催時に聞き、利用者については買い物、通院の同行時等に聞き取り、それらをミーティングで話し合って運営に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 日々の申し送りや全体ミーティング・miniミーティング等で意見を出し合い話し合っている。  (外部評価) 代表者は毎月のミーティングに参加し、職員からの意見や提案を聞くとともに、日常的にホームに出向いて職員と気軽に会話しており、意見や提案等を運営に反映させるよう努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 毎月3ユニット合同会議を開催。担当責任者から報告を受け、新人職員の外部研修等教育はじめ介護福祉士資格取得者の給与見直しや「介護職員処遇改善交付金」の申請等おこない、各自が向上心を持って働けるよう職場環境の整備に努めている。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 異職種からの新人職員の受け入れや高等学校福祉科卒業生を中途採用し、職場での個別トレーニングや各種研修会に参加していただき、働く意欲が向上するよう取り組んでいる。 また、本年は職員の出身高校に申し入れ、実習生受け入れ先として選んでいただけるよう計画している。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) グループホーム連絡協議会の研修等に参加し、情報交換を行ったり、相互評価事業に参加しサービスの質の向上に努めている。	
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 入居前にご本人にお会いし、心身の状態や生活状況を把握し、思いや不安を受け止めるよう努力している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) これまでの経緯を伺い、ご家族の思いを受け止めながら、しっかり話を聴き、事業所としてどのような対応ができるか？今後の方向性について話し合っている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談時、ご本人やご家族の思いや状況等を確認し、何が必要かを見極め、速やかにできる限りの対応に努めている。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) ご利用者、一人一人の思いを共感・理解する様に努め、協働しながら和やかな生活ができる場面作りや声掛けをしている。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご利用者の現在の健康状態や暮らしぶりを来訪時や電話でお伝えしたり、誕生会のメニューを相談したりしている。ご家族が食事作り等、手伝ってくれる事もある。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 入居前の自宅に立ち寄ったり、電話や手紙での連絡を取り持ったり等、つながりを継続できる支援を行っている。  (外部評価) 利用者の馴染みの人がホームを訪ねてきたり、電話をかけてくれており、いただいた年賀状のお礼を電話等で伝えるなど支援している。また、地域の理・美容院に送迎してもらいながら利用するなど、馴染みの関係を築いている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) ご利用者が孤立しないようにリビングでの座る席の位置を考慮したり、毎日のお茶や食事の時間は職員も一緒に多くの会話を持つようにしている。外出時にはご利用者が自ら車椅子を押してくださったり支え合う場面が見受けられる。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 他の施設へ移られたご利用者の様子をご家族に伺ったり、継続的な関係が保てる様、心がけている。	
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々の関わりの中で、一人ひとりの思いを把握できる様、会話や行動、表情から汲み取る様、努めている。10時のおやつには好みの飲み物を毎回、伺い提供している。 (外部評価) 利用者ごとの担当職員を中心に、体調や表情を観察しながらおしゃべりやスキンシップで思いや意向の把握に努めている。把握した情報は申し送りノートに記録し、職員全員が共有して本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) ご本人・ご家族・関係者からこれまでの生活歴を伺い、入居後も安心して自分らしく暮らせるよう努めている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) ご利用者一人ひとりの生活のリズムを理解し、気づきや発見があれば個々の介護記録に記載したり、申し送りやミーティングで全職員が共有できる様、努めている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価) その人らしくより良く暮らしていただける様、ご本人やご家族にどのように過ごしたい(過ごしていただきたい)か、訪問時や電話でご意向を伺い、作成している。作成後はご本人・ご家族に説明、交付している。	
			(外部評価) アセスメントを基に、家族・職員等で話し合っ基本計画を立て、毎月モニタリングを行っている。状態等に変化があった場合はその都度、変化のない場合は6か月～1年毎に作成し、家族にも知らせている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 1日の様子や排泄等身体状況・個別記録はご本人との会話やエピソード等を記録し、情報の共有を行い、実践や介護計画の見直しに活かしている。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価) ご利用者一人ひとりの生活のリズムを理解し、気づきや発見があれば個々の介護記録に記載したり、申し送りやミーティングで全職員が共有できる様、努めている。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価) 地域の理容・美容室と連携を取り、送迎もして頂き、サービスを利用している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	<p>(自己評価) 入居前にご本人とご家族に主治医の確認を行い、かか りつけ医がない場合は、協力医療機関を紹介してい る。協力医療機関一覧表を作成し、24時間体制で連 携をとっている。</p> <p>(外部評価) 本人及び家族の希望を大切に、かかりつけ医の受診を 支援している。受診結果は協力医療機関及び家族に報 告し、適切な医療を受けられるように支援している。 利用者ごとの受診医療機関、受診曜日、服薬等を一覧 表にして、職員全員が把握している。</p>	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	<p>(自己評価) 医療連携で訪問看護ステーションの看護師や理学療法 士の訪問を受け、健康管理や医療面での相談・助言を 頂いている。また管理者が看護職員を兼務しており、 薬の管理や医師との連携などオンコール体制で入居者 の病状の変化を早期に発見するよう努めている。</p>	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<p>(自己評価) 入院時には、ご本人への支援方法に関する情報をご家 族等と相談しながら医療機関に提供している。入院後 は職員が面会に行ったり、回復状況や退院後の生活に ついてご家族と情報交換しながら早期退院に向けて話 し合っている。</p>	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	<p>(自己評価) 入所時に緊急時の対応や重度化した場合のご意向等伺 い、状況変化に応じて主治医・ご家族と繰り返し話し 合いを行い、申し送りや日々の記録にて全職員で方針 を共有している。</p> <p>(外部評価) 入居時の早い時期から、本人及び家族等にホームで できることを説明している。医療行為が必要になる直前 までのケアを基本としており、家族の意向を踏まえな がら繰り返し話し合い、全員で方針を共有して取り組 んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価)  	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 消防署の協力を得て、昼間、夜間を想定した避難訓練を前期と後期に分けて年2回実施した。現状では地域住民の協力は得られていない。災害時に備えて食料や飲料水を準備している。  (外部評価) 消防署の協力を得て、日中及び夜間を想定した避難訓練を年2回実施している。緊急連絡網を整備し、公の避難場所を確認し、飲料水や食料品も備えている。	災害時対応マニュアルを整備し、ホーム独自の自主訓練を計画的に行うことが望まれる。運営推進会議等を通じて地域の協力を得ていくよう取り組むことも期待したい。併せて、ホームとして地域に協力できることについても検討していくことを期待したい。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 排泄の誘導や日々の関わりの中で、プライバシーを尊重した言葉かけや対応が行える様に留意している。訪室する際は、ノックや声かけをして入室している。個人情報取り扱いにも十分配慮して対応している。  (外部評価) ミーティング等の機会ごとに利用者の尊厳とプライバシーの大切さを確認し合い、また日々のケアの中で職員相互に注意しながら、適切な言葉かけや接し方で対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 週1回のパンの販売日に たくさんの種類の中からご自分の好みのパンを選んだり、入浴・食事・飲み物・体操カードに貼るシール等、日々の生活の中で利用者自身が決定する場面作りをしている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) ホームでの一日の流れはあるが、ご利用者のペースに合わせ、できる限り希望に添える様、話し合ったり、計画を立てたりして個別性のある対応に努めている。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 朝の着替えは、基本的にはご本人の意向で決めて頂き、見守りや支援が必要な時には支援している。また、自己決定がしにくいご利用者には職員と一緒に回りながら選んだりしている。マネキュアや美容室等、希望に合わせて個々に支援する様に努めている。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 一緒に買い物に行ったり、準備・片付け等、個々の状態に応じて声掛けしながら職員と一緒にしている。ご利用者と職員が同じテーブルに座り、一緒に食事を楽しんでいる。 (外部評価) ホームの庭で育つ新鮮な野菜を利用者が収穫したり、代表者と利用者が一緒に釣った魚をメニューに取り入れ、食材の買い出しや調理の下ごしらえ等を行っている。一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が会話を交わし、和やかに食事をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 職員が献立を作成している。食事や水分量の摂取状況をこまめにチェック・記録し、苦手な物や食が進まない時などは、品を替え対応している。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 口腔ケアの受講者がミーティングで必要性を発表したり、協力医院である訪問歯科医のアドバイスを受けている。義歯の方は、定期的にポリドント洗浄を行ったり、ご自身でできない方は誘導し支援している。一人ひとりに合った歯ブラシを使用している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 排泄チェック表を活用して排泄のリズムやパターンを理解し、可能な限りトイレで排泄できるように プライバシーに配慮しながら、声掛け・誘導している。	
			(外部評価) 一人ひとりの排泄パターンを記録して把握し、可能な限り日中はトイレで排泄できるよう支援している。毎月2回、理学療法士による歩行訓練等を行って機能の維持・向上を図り、排泄の自立に向けた支援に取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 日頃から適度な運動を勧め、水分摂取量や排泄パターンをチェックして必要時は下剤の服用などご本人と相談しながら便秘予防に努めている。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 毎日、入浴希望を確認し、入浴剤で気分転換を図ったり、身体状況に合わせて足浴を行ったりしている。ご利用者と職員が一对一で関われる大切なコミュニケーションの時間であり、拒まれる方には言葉かけや対応の工夫をし、安全に安心して入浴ができるように支援している。	
			(外部評価) 毎日午後を基本に、体調や希望に合わせて入浴を支援している。入浴の拒否がある利用者に対しては、声かけを工夫したり介助する職員をかえてみるなどしながら、安心して入浴してもらえるよう柔軟に対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) できるだけ日中の活動を促し、生活のリズムを整えるように努めている。外出した後など一人ひとり安心して休息できるように配慮している。 寒い時期は夜間浅眠の方を中心に湯たんぽを用意して睡眠時間が少しでも長く取れるよう工夫している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬情報や年齢、介護度、現病歴、既往歴等を記載した「かかりつけ医一覧表」を作成し、各ユニットに備え付けている。入居者が服薬時に床に落とした時も薬の形状やナンバーから薬の名前や種類が分かるようにしている。また緊急時は一覧表一つで間に合うようにしている。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 掃除や洗濯干し・たたみや調理の下ごしらえ等、声掛けし、一緒に行ったり、役割を実感できるよう支援している。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 天気の良い日はシルバーカーや車椅子等も利用してホームの周辺を散歩し、鯉に餌をやったり、食材の買い物と一緒にいたりしている。  (外部評価) 川沿いを散歩して鯉に餌をやったり、近所の方とあいさつを交わして会話を楽しんでいる。月1回はドライブで花見や栗拾い、外食等に出かけている。また、希望する利用者は代表者と一緒に釣りに行くなど、全員が戸外に出かけられるよう支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) ほとんどのご利用者の金銭管理は職員が行っているが、一部のご利用者はご自身で管理・出納を行っている。買い物・外出の際は、おこずかいからご本人に支払をして頂くなど、力に応じた支援をしている。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) ご家族や知人に電話を希望された時は、コードレス電話を使用して自室にてゆったりと電話して頂いている。書いた手紙の投函を支援したりしている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 玄関・廊下・リビングに壁面担当の職員が中心となって、ご利用者と一緒に季節を感じられる様に工夫している。床暖房の設備があり、換気・加湿に留意し、快適に過ごせるよう努めている。	
			(外部評価) 共用空間は床暖房で適温に保たれている。トイレ、浴室はじめ各所の掃除も行き届き清潔で気になる匂いもない。手作り品や花鉢、置物などで季節感を取り入れ、居心地よく過ごせるように工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 和みの部屋やリビングにはソファや畳の間があり、玄関には運営者手作りの長椅子があり、ご利用者がくつろげる環境作りに努めている。お天気の良い日にはベランダに出て通りの車の流れを眺めたり、日向ぼっこを楽しんでいる、	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 家で使っていた家具などを持ち込み、部屋が殺風景にならぬように出窓に観葉植物などを置き、明るい部屋作りに努めている。本人の希望で畳も敷いている。	
			(外部評価) テレビ、整理ダンス、仏壇など、それぞれが使い慣れた物や好みの物を持ち込み、本人や家族の写真を飾り、本人が居心地よく過ごせるよう工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 各居室の入口にご利用者の写真を表札代わりにしたり、便所や浴室には、運営者手作りの墨で書いた分かりやすい表示があり、混乱を防ぎ自立を促せるような環境作りに配慮している。	

(別表第1の3)

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3870103664
法人名	有限会社 トータルケア果の実
事業所名	グループホーム ころ
所在地	松山市西垣生町575-6
自己評価作成日	平成 22年1月7日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 [※「介護サービス情報の公表」制度にて、基本情報を公表している場合のみ、ここに記載](#)

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日	平成22年 2月 2日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ① ご入居者様が不安なく安心して暮らせるよう。笑顔で接し、お話をよく聞いています。
- ② ご入居者様の健康を守るため、近隣の病医院にお願いし、訪問診療や訪問歯科、訪問看護、訪問リハビリ、訪問マッサージ、受診等必要時は24時間体制でご協力いただいています。
- ③ おむつを外して出来るだけトイレで排泄できるよう足踏み体操や歩行訓練など身体機能の維持改善に取り組んでいます。
- ④ ドライブや買い物、お弁当を持って行楽地へ行く等外出の機会を多くしてホームの暮らしが快適で楽しくなるように取り組んでいます。
- ⑤ 食材にもこだわり、家庭菜園やニワトリを飼って新鮮な卵を使ったり、入居者と一緒に度々魚釣りに行き、新鮮な物を食べて頂いています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホーム内は床暖房で適温に保たれ、利用者は居心地よく過ごしている。トイレ、浴室、リビング、居室は清掃が行き届き、清潔で整理されている。定期的に理学療法士によるリハビリテーションや歩行訓練を行い、利用者の機能維持と向上を図っている。代表者は、職員の意見や提案を聞き取るよう努め、運営に反映させている。管理者は職員を信頼し、職員同士が仲良く協力し合ってサービスの質の向上に努め、利用者との馴染みの関係を築いている。ホームの庭で収穫する旬の野菜や、代表者と利用者が楽しみながら釣った新鮮な魚を献立に取り入れるなど、食の楽しみを支援している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I.理念に基づく運営

II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

III.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

IV.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

#### 【記入方法】

● 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

● 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

● 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

● 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

● 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

● チーム＝一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 グループホーム ころ

(ユニット名) かりん

記入者(管理者)  
氏名 山本 誠一

評価完了日 平成22年1月7日

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

【セル内の改行は、「Altキー」+「Enterキー」です】

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>I.理念に基づく運営</b>				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<p>(自己評価) 朝・夕の申し送りや月1回のミーティング等で理念を確認しあい、職員の休憩場所やロッカー等の目のつく場所に掲示し自身の振り返りの機会を設けている。</p> <p>(外部評価) 設立当初に立てた基本理念を踏まえ、地域密着型サービスの役割を盛り込んだ行動目標を職員全員で話し合って作成している。管理者と職員は、年2回の面接において理念の再確認を行い、また、毎月のミーティングで日々のケアの振り返りを通して理念を共有し、実践につなげている。</p>	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<p>(自己評価) 開設以来の“信頼・和・安心”の理念を系列の3ユニットで話し合い、よく理解し継続可能な具体的な行動目標を設定し日々努力している。</p> <p>(外部評価) 代表者が地域在住で自治会にも加入している。祭りの御輿や農協婦人部のボランティアが来てくれたり、地域の敬老会に参加する利用者もいる。町内の幼稚園の運動会やひな祭りに招待されたり、ホームのクリスマスに招待するなど、相互の交流がある。中学生の職場体験学習を受け入れている。散歩時には近所の方とあいさつを交わし、会話を楽しんでいる。</p>	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<p>(自己評価) 地域の中の事業所として相互に協調・協力しあえる関係を築きたいが模索中であり、地域貢献にまでは至っていない。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) ホームの行事を通してご入居者、ご家族、地域の方々、市町村の方々の参加と交流を中心に取り組み、地域の方やご家族からの貴重なご意見を頂き、サービスの質、の向上に努めている。	
			(外部評価) 市担当者、民生委員、利用者及び家族等をメンバーとして、2か月毎に開催している。協力医療機関の医師がミニ講義を行ったり、花見や夏祭り等の行事に合わせて開催するなど工夫している。会議の後に家族会を開き、代表者が家族から個別に意見や要望を聞いている。	会議を通じて地域に災害時等の協力依頼をする際には消防関係者を招くなど、議題によって参加メンバーを検討し、より有意義なものとなるような工夫を期待したい。会議の状況や内容がよりわかりやすくなるような記録の工夫も期待したい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議へのご出席はじめ、申請手続き等ご相談申し上げ、適切にご指導をいただき、ホームの運営に大変助かっている。	
			(外部評価) 要介護認定の際や各種申請時等に電話や訪問にて相談するなどして連携を図り、常に協力関係を築くように取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 「指定基準にそった禁止対象の具体的な行為」についてはその都度、職員間で意見交換を行い、拘束しないケアに取り組んでいる。	
			(外部評価) 玄関は夜間の防犯目的以外には自由に出入りできる。センサーを利用して利用者の出入りを把握し、職員が連携して見守っている。職員研修で拘束について正しく理解し、拘束をしないケアに取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 外部から講師を招き、勉強会を設けたこともあり、虐待が見過ごされないよう注意を払い、防止に努めている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) ご利用者の方の中に、必要とされる方はいないか？職員間で話し合ったり、ご家族や地域の方からの質問に対応できる様に努めている。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入居前にご本人やご家族に見学して頂き、十分な説明を行ったりご意向を確認し、納得して頂いた上で入所契約を行っている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ご自身で意見の言えるご利用者は、意見・不満を積極的に言われる。意見を上手く伝えられないご利用者には、担当職員が代弁したり、表情等から察する様になっている。リビングでの語らいの際、意見や思いを伝えられる雰囲気作りに努めている。  (外部評価) 玄関に意見箱を置き、また重要事項説明書に苦情申し立て先を明記して説明している。家族の意見や要望は訪問時や家族会開催時に聞き、利用者については買い物、通院の同行時等に聞き取り、それらをミーティングで話し合って運営に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<p>(自己評価) 日々の申し送りや全体ミーティング・miniミーティング等で意見を出し合い話し合っている。</p> <p>(外部評価) 代表者は毎月のミーティングに参加し、職員からの意見や提案を聞くとともに、日常的にホームに出向いて職員と気軽に会話しており、意見や提案等を運営に反映させるよう努めている。</p>	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<p>(自己評価) 毎月3ユニット合同会議を開催。担当責任者から報告を受け、新人職員の外部研修等教育はじめ介護福祉士資格取得者の給与見直しや「介護職員処遇改善交付金」の申請等おこない、各自が向上心を持って働けるよう職場環境の整備に努めている。</p>	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<p>(自己評価) 異職種からの新人職員の受け入れや高等学校福祉科卒業生を中途採用し、職場での個別トレーニングや各種研修会に参加していただき、働く意欲が向上するよう取り組んでいる。 また、本年は職員の出身高校に申し入れ、実習生受け入れ先として選んでいただけるよう計画している。</p>	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	<p>(自己評価) グループホーム連絡協議会の研修等に参加し、情報交換を行ったり、相互評価事業に参加しサービスの質の向上に努めている。</p>	
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<p>(自己評価) 入居前にご本人にお会いし、心身の状態や生活状況を把握し、思いや不安を受け止めるよう努力している。</p>	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) これまでの経緯を伺い、ご家族の思いを受け止めながら、しっかり話を聴き、事業所としてどのような対応ができるか？今後の方向性について話し合っている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談時、ご本人やご家族の思いや状況等を確認し、何が必要かを見極め、速やかにできる限りの対応に努めている。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) ご利用者、一人一人の思いを共感・理解する様に努め、協働しながら和やかな生活ができる場面作りや声掛けをしている。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご利用者の現在の健康状態や暮らしぶりを来訪時や電話でお伝えしたり、誕生会のメニューを相談したりしている。ご家族が食事作り等、手伝ってくれる事もある。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 入居前の自宅に立ち寄ったり、電話や手紙での連絡を取り持ったり等、つながりを継続できる支援を行っている。  (外部評価) 利用者の馴染みの人がホームを訪ねてきたり、電話をかけてくれており、いただいた年賀状のお礼を電話等で伝えるなど支援している。また、地域の理・美容院に送迎してもらいながら利用するなど、馴染みの関係を築いている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) ご利用者が孤立しないようにリビングでの座る席の位置を考慮したり、毎日のお茶や食事の時間は職員も一緒に多くの会話を持つようにしている。外出時にはご利用者が自ら車椅子を押してくださったり支え合う場面が見受けられる。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 他の施設へ移られたご利用者の様子をご家族に伺ったり、継続的な関係が保てる様、心がけている。	
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々の関わりの中で、一人ひとりの思いを把握できる様、会話や行動、表情から汲み取る様、努めている。10時のおやつには好みの飲み物を毎回、伺い提供している。 (外部評価) 利用者ごとの担当職員を中心に、体調や表情を観察しながらおしゃべりやスキンシップで思いや意向の把握に努めている。把握した情報は申し送りノートに記録し、職員全員が共有して本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) ご本人・ご家族・関係者からこれまでの生活歴を伺い、入居後も安心して自分らしく暮らせるよう努めている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) ご利用者一人ひとりの生活のリズムを理解し、気づきや発見があれば個々の介護記録に記載したり、申し送りやミーティングで全職員が共有できる様、努めている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価) その人らしくより良く暮らしていただける様、ご本人やご家族にどのように過ごしたい(過ごしていただきたい)か、訪問時や電話でご意向を伺い、作成している。作成後はご本人・ご家族に説明、交付している。	
			(外部評価) アセスメントを基に、家族・職員等で話し合っ基本計画を立て、毎月モニタリングを行っている。状態等に変化があった場合はその都度、変化のない場合は6か月～1年毎に作成し、家族にも知らせている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 1日の様子や排泄等身体状況・個別記録はご本人との会話やエピソード等を記録し、情報の共有を行い、実践や介護計画の見直しに活かしている。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価) ご利用者一人ひとりの生活のリズムを理解し、気づきや発見があれば個々の介護記録に記載したり、申し送りやミーティングで全職員が共有できる様、努めている。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価) 地域の理容・美容室と連携を取り、送迎もして頂き、サービスを利用している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	<p>(自己評価) 入居前にご本人とご家族に主治医の確認を行い、か かりつけ医がない場合は、協力医療機関を紹介して いる。協力医療機関一覧表を作成し、24時間体制で連 携をとっている。</p> <p>(外部評価) 本人及び家族の希望を大切に、かかりつけ医の受診を 支援している。受診結果は協力医療機関及び家族に報 告し、適切な医療を受けられるように支援している。 利用者ごとの受診医療機関、受診曜日、服薬等を一覧 表にして、職員全員が把握している。</p>	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	<p>(自己評価) 医療連携で訪問看護ステーションの看護師や理学療法 士の訪問を受け、健康管理や医療面での相談・助言を 頂いている。また管理者が看護職員を兼務しており、 薬の管理や医師との連携などオンコール体制で入居者 の病状の変化を早期に発見するよう努めている。</p>	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<p>(自己評価) 入院時には、ご本人への支援方法に関する情報をご家 族等と相談しながら医療機関に提供している。入院後 は職員が面会に行ったり、回復状況や退院後の生活に ついてご家族と情報交換しながら早期退院に向けて話 し合っている。</p>	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合 いを行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	<p>(自己評価) 入所時に緊急時の対応や重度化した場合のご意向等伺 い、状況変化に応じて主治医・ご家族と繰り返し話し 合いを行い、申し送りや日々の記録にて全職員で方針 を共有している。</p> <p>(外部評価) 入居時の早い時期から、本人及び家族等にホームで できることを説明している。医療行為が必要になる直前 までのケアを基本としており、家族の意向を踏まえな がら繰り返し話し合い、全員で方針を共有して取り組 んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価)  	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 消防署の協力を得て、昼間、夜間を想定した避難訓練を前期と後期に分けて年2回実施した。現状では地域住民の協力は得られていない。災害時に備えて食料や飲料水を準備している。  (外部評価) 消防署の協力を得て、日中及び夜間を想定した避難訓練を年2回実施している。緊急連絡網を整備し、公の避難場所を確認し、飲料水や食料品も備えている。	災害時対応マニュアルを整備し、ホーム独自の自主訓練を計画的に行うことが望まれる。運営推進会議等を通じて地域の協力を得ていくよう取り組むことも期待したい。併せて、ホームとして地域に協力できることについても検討していくことを期待したい。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 排泄の誘導や日々の関わりの中で、プライバシーを尊重した言葉かけや対応が行える様に留意している。訪室する際は、ノックや声かけをして入室している。個人情報取り扱いにも十分配慮して対応している。  (外部評価) ミーティング等の機会ごとに利用者の尊厳とプライバシーの大切さを確認し合い、また日々のケアの中で職員相互に注意しながら、適切な言葉かけや接し方で対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 週1回のパンの販売日に たくさんの種類の中からご自分の好みのパンを選んだり、入浴・食事・飲み物・体操カードに貼るシール等、日々の生活の中で利用者自身が決定する場面作りをしている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) ホームでの一日の流れはあるが、ご利用者のペースに合わせ、できる限り希望に添える様、話し合ったり、計画を立てたりして個別性のある対応に努めている。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 朝の着替えは、基本的にはご本人の意向で決めて頂き、見守りや支援が必要な時には支援している。また、自己決定がしにくいご利用者には職員と一緒に回りながら選んだりしている。マネキュアや美容室等、希望に合わせて個々に支援する様に努めている。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 一緒に買い物に行ったり、準備・片付け等、個々の状態に応じて声掛けしながら職員と一緒にしている。ご利用者と職員が同じテーブルに座り、一緒に食事を楽しんでいる。 (外部評価) ホームの庭で育つ新鮮な野菜を利用者が収穫したり、代表者と利用者が一緒に釣った魚をメニューに取り入れ、食材の買い出しや調理の下ごしらえ等を行っている。一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が会話を交わし、和やかに食事をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 職員が献立を作成している。食事や水分量の摂取状況をこまめにチェック・記録し、苦手な物や食が進まない時などは、品を替え対応している。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 口腔ケアの受講者がミーティングで必要性を發表したり、協力医院である訪問歯科医のアドバイスを受けている。義歯の方は、定期的にポリドント洗浄を行ったり、ご自身でできない方は誘導し支援している。一人ひとりに合った歯ブラシを使用している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 排泄チェック表を活用して排泄のリズムやパターンを理解し、可能な限りトイレで排泄できるように プライバシーに配慮しながら、声掛け・誘導している。	
			(外部評価) 一人ひとりの排泄パターンを記録して把握し、可能な限り日中はトイレで排泄できるよう支援している。毎月2回、理学療法士による歩行訓練等を行って機能の維持・向上を図り、排泄の自立に向けた支援に取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 日頃から適度な運動を勧め、水分摂取量や排泄パターンをチェックして必要時は下剤の服用などご本人と相談しながら便秘予防に努めている。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 毎日、入浴希望を確認し、入浴剤で気分転換を図ったり、身体状況に合わせて足浴を行ったりしている。ご利用者と職員が一对一で関われる大切なコミュニケーションの時間であり、拒まれる方には言葉かけや対応の工夫をし、安全に安心して入浴ができるように支援している。	
			(外部評価) 毎日午後を基本に、体調や希望に合わせて入浴を支援している。入浴の拒否がある利用者に対しては、声かけを工夫したり介助する職員をかえてみるなどしながら、安心して入浴してもらえるよう柔軟に対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) できるだけ日中の活動を促し、生活のリズムを整えるように努めている。外出した後など一人ひとり安心して休息できるように配慮している。 また、寒い時期には夜間浅眠の方を中心に湯たんぽを用意して睡眠時間が少しでも長く取れるよう工夫している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬情報や年齢、介護度、現病歴、既往歴等を記載した「かかりつけ医一覧表」を作成し、各ユニットに備え付けている。入居者が服薬時に床に落とした時も薬の形状やナンバーから薬の名前や種類が分かるようにしている。また緊急時は一覧表一つで間に合うようにしている。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 掃除や洗濯干し・たたみや調理の下ごしらえ等、声掛けし、一緒に行ったり、役割を実感できるよう支援している。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 天気の良い日はシルバーカーや車椅子等も利用してホームの周辺を散歩し、鯉に餌をやったり、食材の買い物に一緒に行ったりしている。  (外部評価) 川沿いを散歩して鯉に餌をやったり、近所の方とあいさつを交わして会話を楽しんでいる。月1回はドライブで花見や栗拾い、外食等に出かけている。また、希望する利用者は代表者と一緒に釣りに行くなど、全員が戸外に出かけられるよう支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) ほとんどのご利用者の金銭管理は職員が行っているが、一部のご利用者はご自身で管理・出納を行っている。買い物・外出の際は、おこずかいからご本人に支払をして頂くなど、力に応じた支援をしている。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) ご家族や知人に電話を希望された時は、コードレス電話を使用して自室にてゆったりと電話して頂いている。書いた手紙の投函を支援したりしている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 玄関・廊下・リビングに壁面担当の職員が中心となって、ご利用者と一緒に季節を感じられる様に工夫している。床暖房の設備があり、換気・加湿に留意し、快適に過ごせるよう努めている。	
			(外部評価) 共用空間は床暖房で適温に保たれている。トイレ、浴室はじめ各所の掃除も行き届き清潔で気になる匂いもない。手作り品や花鉢、置物などで季節感を取り入れ、居心地よく過ごせるように工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 和みの部屋やリビングにはソファや畳の間があり、玄関には運営者手作りの長椅子があり、ご利用者がくつろげる環境作りに努めている。お天気の良い日にはベランダに出て通りの車の流れを眺めたり、日向ぼっこを楽しんでいる、	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 家で使っていた家具などを持ち込み、部屋が殺風景にならぬように出窓に観葉植物などを置き、明るい部屋作りに努めている。本人の希望で畳も敷いている。	
			(外部評価) テレビ、整理ダンス、仏壇など、それぞれが使い慣れた物や好みの物を持ち込み、本人や家族の写真を飾り、本人が居心地よく過ごせるよう工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 各居室の入口にご利用者の写真を表札代わりにしたり、便所や浴室と運営者手作りの墨で書いた分かりやすい表示があり、混乱を防ぎ自立を促せるような環境作りに配慮している。	